

第2章 試験研究の基本方針

1 基本目標

本計画は、次のとおり2つの基本目標を掲げ、生産性の飛躍的な向上や県産農産物の競争力強化につながる新品種・新技術をはじめ、気候変動や環境負荷低減に対応する新たな技術の開発等を進めていきます。

(1) 農業者の所得向上

先端技術を活用した省力・低コスト生産や地域資源の活用、ブランド力向上に資する新品種・新技術の開発等により、農業者の所得向上を目指します。

(2) 農業・農村の持続可能性の向上

気候変動に適応した新品種・生産技術や環境負荷低減に資する技術の開発を進め、農業・農村の持続可能性の向上を目指します。

2 重点テーマ

基本目標の達成に向けて戦略的に試験研究を推進するため、米麦や園芸、畜産、水産などの各分野における研究を横断的に展開する「重点テーマ」を設定します。

(1) 生産性向上

収量性の高い新品種の開発、効率的かつ省力・低コスト生産を実現する技術、スマート農業技術の活用を前提とした抜本的な生産方式の転換などによる生産性向上により、農業者の経営安定と所得向上を図ります。

(2) 気候変動への対応

気候変動に伴う収量や品質への影響を抑制・軽減する品種・技術の開発や、将来の気候に適した品目の検討、気候変動の影響をシミュレーションできる予測技術の開発などにより、本県農業の持続力向上を図ります。

(3) 環境との調和

化学農薬や化学肥料の使用量低減、堆肥など未利用資源の利活用の推進のほか、生産に伴う温室効果ガスの排出抑制技術や、水産資源を支える生息環境改善技術の開発などにより、環境と調和した農業生産を目指します。

(4) ブランド力向上

消費者ニーズの変化を見据えたオリジナル品種や、品質・収量の安定化や他産地との差別化に資する技術の開発により、消費者に選ばれる県産農産物の地位の確立と、産地競争力の強化を図ります。